

令和6年度		学校経営計画		江戸川区立上小岩第二小学校 校長 小野塚 良朋	
学校教育目標		上二の子どもはやり通す			
		やり通す心 ・よく学ぶ子・思いやりのある子よく働く子 やり通す体 ・よく遊ぶ子・よく運動する子			
○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人を大切に、児童のよさや可能性を伸ばす学校</li> <li>・児童の主体性を尊重し、自ら選び取り組む「生きる力」を育む学校</li> <li>・誠実に教育に取り組み、家庭や地域から信頼される学校</li> </ul>				
○児童像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて学習に取り組み、学ぶ喜びを知る児童</li> <li>・目標をもって努力し、よく考え、課題を解決しようとする児童</li> <li>・進んで仕事をし、友達と仲良く、元気に生活する児童</li> </ul>				
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬愛され、信頼される教師</li> <li>・職責を果たすことに熱意をもって取り組み、研究、研鑽に励む教師</li> <li>・教育の専門職としての自信と誇りをもつ教師</li> </ul>				
令和6年度 育成テーマ		生きる力を培う、主体的で深い学び			
		具体的な取り組み	期待する成果		
重点課題 1		いきいきと学ぶ教育の充実			
確かな学力の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ姿勢と学習意欲の向上を目指し、基礎基本の力を培い定着させる取り組みを継続する。</li> <li>・タブレット端末を活用した個別最適な学び。</li> <li>・民間委託による補習の充実と協働。</li> </ul>			
体力の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容の正答率を昨年度より10%上げる。</li> <li>・学力テスト等の結果において、各層の割合を10%以上向上させる。</li> <li>・学習することに前向きな児童8割以上。</li> </ul>			
新しい教育の充実と推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育授業は主体的な課題解決学習を進め、運動本来の楽しさを味わえる指導を展開する。</li> <li>・体力テストの方法、実施場所の改善。記録の向上を目指した指導及びプレテストを実施する。</li> <li>・区のなわ跳びチャレンジの取り組みを活用し、毎日運動する習慣を身につける。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードや体育日記を活用した授業、評価を行い、主体的に運動する子どもたち2割以上増加。</li> <li>・すべての種目に対し、結果数値増。</li> <li>・毎日外遊びをする児童8割以上。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科を通して個別のタブレット端末を活かした教育を推進する。</li> <li>・読書活動の充実、環境整備。学校応援団、地域図書館との連携強化。読書ノートの活用。</li> <li>・教科担任制の導入。英語専科の活用。</li> <li>・対話的な学びから、主体的で気づきの多い学習活動を行う。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末操作のスキルアップ。</li> <li>・読書好きの児童8割以上。</li> <li>・「外国語の授業が楽しい」児童8割以上。</li> <li>・論理的な思考力の向上</li> </ul>			
重点課題 2		特色ある教育の展開			
質の高い教育活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科、総合的な学習とのカリキュラムマネジメント、教科担任制等の検証を重ね、教員間の連携を図りながら児童に学びを実感させる。</li> <li>・各学期ごとのねらいを明確にし、メリハリのある教育活動を行う。</li> <li>・タブレット端末ほか、ICT機器の効果的な活用。</li> </ul>			
運動の魅力発信と推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の教員の魅力、特性を發揮した教育活動の展開。</li> <li>・毎日の成果を振り返る時間を確保。児童の授業満足度8割以上。</li> <li>・新しい実践や先進情報をつかみ、本校の実態と昨今の課題に合わせた教育活動を創る。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な活動を促すため、30分の休み時間の導入と、広い校庭を活用したわくわくタイムの継続。</li> <li>・運動への継続的な取り組み（長なわ、マラソントime）</li> <li>・OJTを活用した教員の伝える力の向上</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団遊びによる豊かな人間関係の構築。</li> <li>・運動好きの児童8割以上。</li> </ul>			
重点課題 3		健全育成の充実			
いじめ、不登校への対応 特別支援教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「居心地の良い学級」と感じる児童8割以上</li> <li>・不登校児童出席日数を昨年度より増加</li> <li>・不登校児童の減少</li> <li>・インターネットがらみのトラブル件数0件</li> <li>・児童の学校生活満足度8割以上</li> <li>・効果的な巡回指導と在籍学級での課題解決、変容</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイパーQU調査を実施し(6月)実態を把握結果をもとに児童との個別面談を行う(9月)</li> <li>・いじめ、体罰アンケートを毎学期実施する。</li> <li>・児童と保護者を対象としたスマートフォン等の使い方教室を実施</li> <li>・安全で楽しい学校生活を振り返る時間の確保問題の早期発見に努め、組織的に対応する。</li> <li>・巡回指導教員、専門員、SC、介助員との連携特別支援につなげる校内組織の動きを改善し、必要な支援体制を整える。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用や体育実技研修会等の積極的な実施</li> <li>・短時間で効果的なOJTの計画的な実施、若手研修会を活用し、各層の指導力向上を図る。</li> <li>・実効性のある働き方改革の実施</li> </ul>			
重点課題 4		教員の資質向上			
校内研修会の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教える側の学ぶ姿勢の充実、研修会は計画通り実施する。</li> <li>・定時退勤。超過勤務時間月30時間以内。</li> <li>・外部人材の有効活用。</li> </ul>			
働き方のさらなる改善					

